



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

As-me ESTELLE

平成23年8月9日

上場会社名 As-meエステール株式会社
 コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 雅史
 (氏名) 渡邊 正直

上場取引所 大
 TEL 03-5777-5120

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,134	△0.8	227	93.5	211	35.7	23	—
23年3月期第1四半期	6,183	1.0	117	—	155	—	△58	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △47百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △60百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.09	—
23年3月期第1四半期	△5.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	29,747	9,297	31.3	833.34
23年3月期	30,141	9,523	31.6	853.62

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,297百万円 23年3月期 9,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,848	△3.8	232	△46.1	346	△30.4	126	△6.6	11.34
通期	27,463	1.5	1,645	26.2	1,867	39.3	1,001	54.6	89.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,459,223 株	23年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	302,485 株	23年3月期	302,485 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	11,156,738 株	23年3月期1Q	11,168,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響から、企業の生産活動はサプライチェーンの寸断により大きく落ち込み、また、消費においても物流の混乱や消費自粛により低迷しましたが、平成23年6月度では、企業の迅速な復旧活動により生産活動は震災前の水準に近づき、個人消費は自粛ムードの緩みや電力供給不安を背景とした省エネ家電への買換需要などにより改善がみられました。

当社における震災の直接的影響としては、震災により期初に営業を休止していた東北・関東の一部の店舗も出店先商業施設の早期の復旧に伴い数店を残し営業を再開しており、軽微なものに止まりました。

当社グループの当四半期における店舗展開としては、当社では6店舗を出店、2店舗を閉鎖し、当四半期末店舗数は378店舗（前年同期末380店舗）となり、メガネ小売のキンバレー㈱では2店舗を出店、1店舗を閉鎖し、41店舗（前年同期末38店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、ほぼ前年並の61億34百万円（前年同期比0.8%減）となりました。営業利益は、値引販売の抑制による売上総利益率の改善や本部経費の削減などにより2億27百万円（同93.5%増）となりました。経常利益は、有利子負債圧縮に伴い支払利息が減少したものの海外子会社で発生した為替差損が増加し、2億11百万円（同35.7%増）となり、四半期純利益は、前年同期に特別損失に計上した本部経費削減のための事務所移転費用や投資有価証券評価損などの減少と、法人税等の増加により23百万円（前年同期は58百万円の損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

<宝飾品>

当第1四半期連結累計期間の宝飾品セグメントの売上高は、57億58百万円（前年同期比0.0%減）となり、営業利益は、2億35百万円（同144.7%増）となりました。

<眼鏡>

当第1四半期連結累計期間の眼鏡セグメントの売上高は、3億76百万円（同10.9%減）となり、営業利益は11百万円の損失（前年同期は17百万円の利益）となりました。

上記セグメントの業績の営業利益については、セグメント間取引消去前の金額を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の301億41百万円より3億93百万円減少し、297億47百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少10億32百万円と原材料仕入の増加等によるたな卸資産の増加5億9百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末の206億17百万円より1億67百万円減少し、204億50百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加6億5百万円、長期借入金の減少4億90百万円、賞与引当金の減少1億75百万円及び未払法人税等の減少1億48百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の95億23百万円より2億26百万円減少し、92億97百万円となりました。これは、四半期純利益23百万円と剰余金の配当1億78百万円による利益剰余金の1億55百万円の減少及びその他の包括利益累計額71百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、営業利益は平成23年5月13日に公表した平成24年3月期の第2四半期（累計）の業績予想並みとなりましたが、現下の米国国債格下げに伴う世界の市場の動揺、欧州の財政不安や急速に進んだ円高などにより景気先行に不透明感を増しており、今後の消費動向等を予測することが困難であるため、第2四半期（累計）及び通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,174	3,142
受取手形及び売掛金	1,808	1,984
商品及び製品	9,486	9,721
仕掛品	1,357	1,354
原材料及び貯蔵品	1,438	1,715
その他	898	999
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,162	18,917
固定資産		
有形固定資産	2,361	2,336
無形固定資産	402	441
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,274	5,151
その他	3,009	2,969
投資損失引当金	△56	△56
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	8,214	8,052
固定資産合計	10,978	10,829
資産合計	30,141	29,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,232	3,189
短期借入金	1,642	2,247
1年内返済予定の長期借入金	3,394	3,302
1年内償還予定の社債	868	798
未払法人税等	222	73
引当金	354	178
その他	1,212	1,690
流動負債合計	10,926	11,479
固定負債		
社債	580	460
長期借入金	6,169	5,678
負ののれん	1,015	925
退職給付引当金	1,282	1,282
役員退職慰労引当金	391	380
資産除去債務	39	52
その他	213	191
固定負債合計	9,690	8,970
負債合計	20,617	20,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	4,503	4,347
自己株式	△146	△146
株主資本合計	9,312	9,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	261
為替換算調整勘定	△105	△121
その他の包括利益累計額合計	210	139
純資産合計	9,523	9,297
負債純資産合計	30,141	29,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,183	6,134
売上原価	2,278	2,174
売上総利益	3,904	3,960
販売費及び一般管理費	3,787	3,732
営業利益	117	227
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	35	34
負ののれん償却額	90	90
その他	36	26
営業外収益合計	163	151
営業外費用		
支払利息	92	73
為替差損	17	83
その他	15	10
営業外費用合計	125	167
経常利益	155	211
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	—
受取補償金	—	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除売却損	8	10
店舗閉鎖損失	2	2
事務所移転費用	33	—
減損損失	76	76
投資有価証券評価損	26	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
特別損失合計	166	89
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7	124
法人税等	50	101
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58	23

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△58	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△55
為替換算調整勘定	△4	△15
その他の包括利益合計	△2	△71
四半期包括利益	△60	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60	△47
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,760	422	6,183	—	6,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,760	422	6,183	—	6,183
セグメント利益	96	17	113	4	117

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける店舗の設備等の固定資産について、それぞれ47百万円及び29百万円の減損損失を認識いたしました。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,758	376	6,134	—	6,134
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,758	376	6,134	—	6,134
セグメント利益又は損失(△)	235	△11	223	4	227

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分方法を一部変更したことに伴い、前第1四半期連結累計期間についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益の金額を表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける店舗の設備等の固定資産について、それぞれ36百万円及び40百万円の減損損失を認識いたしました。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。